

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成21年4月7日（火） 11:00～11:30  
場 所：事務局第二会議室（小白川キャンパス、事務局4階）

### 学 長 挨 拶

### 発 表 事 項

1. 平成21年度『山形大学 YU Do Best 奨学金』奨学生の決定について
2. 工学部OB・OG講義「企業を担う先輩達」の開講について
3. 『大学コンソーシアムやまがた』による米国コロラド州視察について

### お 知 ら せ

1. 「星のソムリエ（星空案内人）」資格認定講座について

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：4月21日（火） 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室（小白川キャンパス、事務局4階）

## 平成21年度「山形大学 YU Do Best 奨学金」について

成績・人物共に優秀な学生に対して奨学金を支給する「山形大学 YU Do Best 奨学金」の平成21年度奨学生が決定いたしました。

### 1. 平成21年度「山形大学YU Do Best 奨学金」奨学生について

この度、本学学生の中から特に成績・人物共に優秀な学生を奨学生として採用し、奨学金を支給する「山形大学YU Do Best 奨学金」の平成21年度奨学生10名が決定いたしました。（詳細別紙「奨学生名簿」のとおり）

### 2. 平成21年度「山形大学YU Do Best 奨学金」奨学生証の授与について

平成21年度本奨学生に対する奨学生証の授与は、平成21年入学式の中で行います。

入学式の中で行うことにより、学生の奨学生としての意識と自覚を高めるとともに、入学したばかりの新入生に対して、勉学に励むうえでの明確な目標の一つを提示することで、今後の勉学の励みとしてもらうことを目指しています。

なお、初年度である平成20年度は、「山形大学 YU Do Best 奨学金」奨学生証授与式を開催していましたが、今後は上記目的のため、毎年入学式の中で実施する予定です。

#### 【平成21年度「山形大学YU Do Best 奨学金」】

日 時 : 平成21年 4月 8日 (水) 10:30～

場 所 : 山形県体育館 (平成21年度入学式内)

### 3. 「山形大学YU Do Best 奨学金」の目的

「山形大学YU Do Best 奨学金」制度は、山形大学結城プラン2008から掲げる基本方針の一つである「何よりも学生を大切に、学生が主役となる大学創り」を目指し、成績・人物共に優秀な学生が安心して勉学に専念できる環境を整備することを目的として、平成20年度に創設しました。

本学の、3年次（医学部医学科は5年次）学生を対象として、成績・人物共に特に優秀な学生に対して奨学金を支給する制度で、毎年10名程度を予定しています。

奨学金支給額は月額3万円、支給期間は卒業までの2年間になります。

(お問い合わせ)

小白川事務部 学生支援ユニット

電 話:023 (628) 4133

メール: gskikaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

## 平成21年度「山形大学 YU Do Best 奨学金」奨学生一覧

3年生(医学部医学科は5年生)

計 10名

番号	学部	学科	氏名	備考
1	人文学部	人間文化学科	オオタケ トモヨ 大竹 智子	
2	人文学部	法経政策学科	クロサワ ヨウコ 黒沢 陽子	
3	地域教育文化学部	地域教育学科	キムラ モモエ 木村 百恵	
4	地域教育文化学部	生活総合学科	シンドウ トモカ 新藤 友香	
5	理学部	生物学科	シバタ ホナミ 柴田 帆浪	
6	医学部	医学科	マキ サエコ 牧 佐江子	
7	工学部	機能高分子工学科	トガシ ダイチ 富樫 大地	
8	工学部	機械システム工学科	サイトウ アキラ 齋藤 明	
9	工学部	情報科学科	アサヌマ アキ 浅沼 亜紀	
10	農学部	生物生産学科	ササキ フンペイ 佐々木 文平	

平成 21 年 4 月 7 日  
山 形 大 学

## 工学部OB・OG講義「企業を担う先輩達」の開講について

山形大学工学部では、同じ大学で学んだ先輩の大学時代、会社の技術、求められている人物等のお話を伺うことによって、有意義な学生生活を考えることを目的としています。

また、今年度は工学部の歴史についても講義いただくことにより、より幅の広い講義を目指します。

### 1 開講時期

平成 21 年度 前期（4月15日～7月22日）

毎週水曜 16:00～17:30

（日時、講師については別紙を参照願います。）

### 2 場 所

工学部 4 号館 中示範 A 教室

### 3 対 象

学生、教職員、一般の方

### 4 その他

この講座は、本学工学部を卒業され、企業でご活躍されている方々をお招きして、「企業を担う先輩達」として平成 19 年度から開講しています。

社会の荒波を乗り越えてきた大先輩方の貴重な一言に、受講生は毎回熱心に聞き入り、今後の人生の指針となる言葉として胸に刻んでいます。

なお、講演後に後輩へのメッセージを書いていただき、講義棟内のミニミュージアムに展示しています。

（お問い合わせ）

工学部学生サポートチーム

教育支援担当（布施）

電話：0238（26）3015

## 平成21年度「企業を担う先輩達」講師一覧

No.	年	月	日	学科	卒年	氏名	会社名
1	2009年	4月	15日			大場好弘	山形大学 工学部
2	2009年	5月	13日	修E	昭61	小林 佳和	NEC インフロンティア株式会社
3	2009年	5月	20日	修K	平3	鈴木 雅人	JSR 株式会社
4	2009年	5月	27日	短C	昭51	後藤 妙子	東北緑化環境保全 株式会社
5	2009年	6月	3日	E	昭57	関 亨江	株式会社 デジタル
6	2009年	6月	10日	修物	平7	岩佐 泰雄	株式会社 ユポ・コーポレーション
7	2009年	6月	17日	修K	平3	早見 由香	富士通マイクロエレクトロニクス株式会社
8	2009年	6月	24日	電情	平6	酒井 慎一	株式会社 京三製作所
9	2009年	7月	1日	M	昭46	松田 行雄	住金コスモプランズ 株式会社
10	2009年	7月	8日	修T	昭59	遠藤 善博	東邦テナックス 株式会社
11	2009年	7月	15日	修M	昭51	仲谷 茂樹	綜研テクニックス 株式会社
12	2009年	7月	22日			(予備日)	

平成21年4月7日

## 『大学コンソーシアムやまがた』による米国コロラド州視察について

山形大学など県内の高等教育機関と山形県で組織する「大学コンソーシアムやまがた\*」は3月15日から同21日の日程で、米国コロラド州内の主要大学を視察しました。

\* 平成16年に設立された山形県内の大学・短期大学・高等専門学校・放送大学等の11教育機関と山形県の連合組織です。

### 【視察の目的】

- 「留学生2,000人計画」の実現に向け、県と姉妹提携関係にある米国コロラド州内の各大学との交流を促進、拡大する方策を探る
- コンソーシアムとして同州にネットワーク形成のための情報を収集する

### 【視察参加校と参加人数】

- 鶴岡工業高等専門学校2名、県立米沢女子短期大学1名、東北公益文科大学1名、山形短期大学1名、山形大学5名、

### 【調査・情報収集先】

- ① レッドロックス・コミュニティカレッジ
- ② アラパホ・コミュニティカレッジ（県立米沢女子短期大学と姉妹協定）
- ③ デンバー大学
- ④ コロラド州立大学（山形大学と学生交流協定、県立保健医療大学と提携関係）
- ⑤ コロラド大学ボルダー校
- ⑥ 在デンバー日本総領事館

### 【成果】

- コロラド州内各大学の国際交流責任者と人的コネクションを構築
- 各大学の国際交流・学術交流に関するネットワーク作りのために必要な情報を取得

### 【今後の方針】

今後は今回の視察で得た情報や人脈をフルに活用し、コロラド州内各大学との学生交流強化を図る

（お問い合わせ先）

大学連携推進室 教授 山崎 真二

電話：023（628）4123

e-mail:s-yamazaki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

## 大学コンソーシアムやまがた加盟機関

### 【庄内地域】

東北公益文科大学 酒田キャンパス  
山形県立産業技術短期大学校(庄内校)  
山形大学 鶴岡キャンパス(農学部)  
鶴岡工業高等専門学校  
東北公益文科大学 鶴岡キャンパス

### 【最上地域】

山形県立農業大学校

### 【村山地域】

羽陽学園短期大学  
山形県立保健医療大学  
放送大学山形学習センター  
山形大学 小白川キャンパス  
(人文学部・地域教育文化学部・理学部)  
東北芸術工科大学  
山形大学 飯田キャンパス(医学部)  
山形短期大学  
山形県立産業技術短期大学校(山形校)

### 【置賜地域】

山形大学 米沢キャンパス(工学部)  
山形県立米沢女子短期大学

#### 羽陽学園短期大学

〒994-0065 天童市大字清池1559  
TEL: 023-655-2385  
URL: <http://www.uyo.ac.jp/>

#### 鶴岡工業高等専門学校

〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104  
TEL: 0235-25-9025  
URL: <http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/>

#### 東北芸術工科大学

〒990-9530 山形市上桜田3-4-5  
TEL: 023-627-2000  
URL: <http://www.tuad.ac.jp/>

#### 東北公益文科大学

〒998-8580 酒田市飯森山3-5-1  
TEL: 0234-41-1117  
URL: <http://www.koeki-u.ac.jp/>

#### 放送大学山形学習センター

〒990-8580 山形市城南1-1-1(霞城セントラル内)  
TEL: 023-646-8836  
URL: <http://www.u-air.ac.jp/>

#### 山形県立産業技術短期大学校

<山形校>  
〒990-2473 山形市松栄2-2-1  
TEL: 023-643-8431  
URL: <http://www.yamagata-cit.ac.jp/index3.html>  
<庄内校>  
〒998-0102 酒田市京田3-57-4  
TEL: 0234-31-2300  
URL: <http://www.shonai-cit.ac.jp/>

#### 山形県立農業大学校

〒996-0052 新庄市大字角沢1366  
TEL: 0233-22-1527  
URL: <http://ynodai.ac.jp/>

#### 山形県立保健医療大学

〒990-2212 山形市上柳260  
TEL: 023-686-6688  
URL: <http://www.yachts.ac.jp/>

#### 山形県立米沢女子短期大学

〒992-0025 米沢市通町6-15-1  
TEL: 0238-22-7330  
URL: <http://www.yone.ac.jp/>

#### 山形短期大学

〒990-2316 山形市片谷地515  
TEL: 023-688-2298  
URL: <http://www.yamagata-jc.ac.jp/>

#### 山形大学

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12  
TEL: 023-628-4842(大学コンソーシアムやまがた事務局)  
TEL: 023-628-4804(山形大学大学連携推進室)  
URL: <http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

#### 山形県

〒990-8570 山形市松波2-8-1  
山形県文化環境部学術振興課  
TEL: 023-630-3052  
URL: <http://www.pref.yamagata.jp/>

大学コンソーシアムやまがた  
<http://unicon.kj.yamagata-u.ac.jp/>

#### お問い合わせ先

大学コンソーシアムやまがた事務局(山形大学大学連携推進室内)  
TEL: 023-628-4842  
FAX: 023-628-4078  
e-mail: [unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)



## 文部科学省 戦略的大学連携支援事業

# 大学コンソーシアムやまがたを基盤とする 地域教育研究機能の強化

連携校

羽陽学園短期大学

鶴岡工業高等専門学校

東北芸術工科大学

東北公益文科大学

山形県立保健医療大学

山形県立米沢女子短期大学

山形大学(代表校)

山形短期大学

UNIVERSITY  
CONSORTIUM  
OF  
YAMAGATA

文部科学省 戦略的大学連携支援事業

国公立大学間の積極的な連携を推進し、各大学における教育研究資源を有効活用することにより、当該地域の知的拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、個性・特色の明確化、大学運営基盤の強化等を図ることを目的とした文部科学省の事業。

# 大学コンソーシアムやまがたを基盤とする 地域教育研究機能の強化

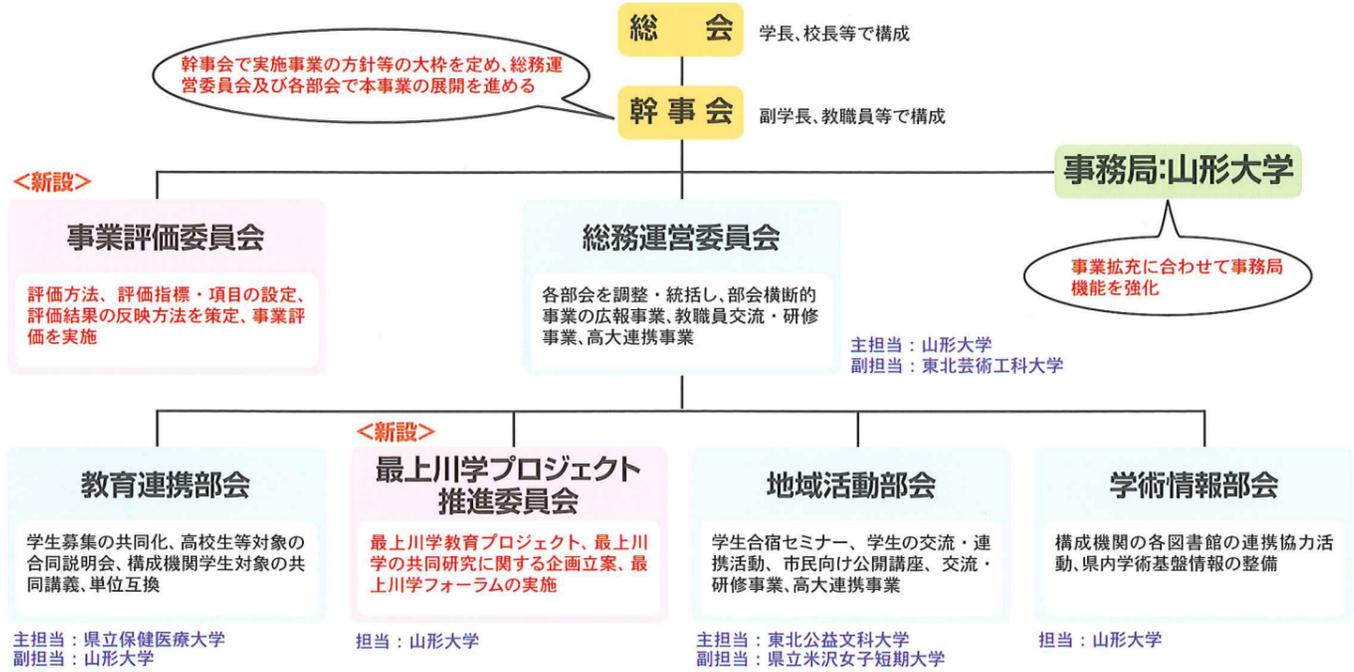
## 連携取組の概要

山形県内の大学等の高等教育機関及び山形県で組織する「大学コンソーシアムやまがた」(愛称:ゆうキャンパス)の教育研究機能を強化し、個々の高等教育機関の教育研究の活性化を図るため、従前の学生募集共同化、学生交流・連携、高大連携、公開講座等の各事業に加えて、新たに、山形県の「母なる川」最上川及びその流域に焦点を当て、その有する教育研究資源を活用して、「最上川学」を構築し、「最上川学教育プロジェクト」を実施する。これらの情報発信・公開を行うため、「最上川学フォーラム」を開催し、「最上川学Net.」を開設する。

また、単位互換及びE-learningの充実を図るとともに、外部資金獲得、コンプライアンス、知的財産に関する普及活動や産学官連携プラットフォームの構築などの産学官連携の取組を進める。グローバル化の進展に対応して、留学生交流の充実や国際拠点の構築などの国際交流事業を展開する。

## 実施体制【ゆうキャンパス】

ゆう: Yamagata Open University



## 5つの事業の内容

番号	事業名	事業内容
<b>(1) 最上川学教育プロジェクト事業</b> 担当:最上川学プロジェクト推進委員会(担当:山形大学)		
1	最上川学の構築	最上川とその流域に関する研究を推進し、「最上川学」という新たな学問体系を構築する。
2	「最上川学推進センター」の設置	最上川教育プログラムの実施に当たり、地域連携やフィールド拠点となる「最上川学推進センター」を設置する。
3	「最上川学Net.」の開設	ゆうキャンパスホームページに教育研究コンテンツ、共通講義に参加する大学間の連絡、資料の相互利用などの機能を持たせた「最上川学Net.」を開設する。
4	「最上川学フォーラム」の開催	最上川学の教育研究事業の内容を県内の小・中・高校生や社会人等へ広く周知するための「最上川学フォーラム」を開催する。
<b>(2) 連携型教育推進事業</b> 担当:教育連携部会(主担当:県立保健医療大学、副担当:山形大学)		
5	連携型カリキュラムの開発	各大学の同質、類似の分野のカリキュラムを有機的に融合するために、連携型カリキュラムの研究開発を行い、eラーニング化を図る
6	資格課程等科目の共同化	各大学の資格課程(教職、学芸員、司書等)科目を共同化(eラーニング科目履修による単位互換)することについて調査し、可能な科目からeラーニング化を進める。
7	eラーニング教育環境の改善	良質の音声及び整理された教材資料を通して、eラーニング教育環境の改善を図る。
8	単位互換等情報提供の充実	学生意向調査を踏まえて学生向けの単位互換及びeラーニング関連情報を効果的なものに改善する
<b>(3) 研究環境整備・産学官連携事業</b> 担当:幹事会(担当:山形大学)		
9	外部資金獲得及びコンプライアンスに関する研修会の開催	県内ユーザー調査及び各大学等の実態調査に基づき、研究者中心のデータベースを構築する。
10	知的財産等に関する認識の普及活動	産学官連携・知的財産に関し、コーディネータを配置した相談室を設置し、積極的な産学官連携調整・啓発活動を行う。
11	産学官連携プラットフォームの構築	共同研究対象となる企業の担当者と大学の研究者のマッチングを図るためのセミナー・交流会を開催する。
<b>(4) 国際交流事業</b> 担当:幹事会(担当:山形大学)		
12	留学生2,000人計画の実現	各大学等を紹介する冊子及び来県する外国人留学生、研究者に山形で生活する上での必要な情報を掲載した冊子を5カ国語で作成し提供する。
13	国際拠点づくり	県と姉妹州提携を行っている米国・コロラド州にコンソーシアムの国際拠点を設け、コロラド州立大学等との連携を緊密にし、国際交流担当教職員の相互交流を実施する。

## 年次計画

年次計画	最上川学教育プログラム	最上川学の構築	最上川学フォーラムの開催	最上川学Net.の開設	単位互換及びE-learningの充実	外部資金獲得・コンプライアンスに関する研修会	知的財産に関する普及活動	産学官連携プラットフォームの構築	留学生2,000人計画の実現	国際拠点づくり
<b>平成20年度</b>	1.意義、ありかた、履修方法等の検討 2.教育コンテンツの開発・作成 3.教育プログラムの履修シミュレーションの試行	1.「最上川学バーチャル研究所」制度の創設 2.最上川学共同研究の推進 3.「最上川学俯瞰講義」開設に向けて準備・調整	キックオフ・ミーティングの開催 ・最上川学教育の役割、方向性を議論 ・次年度開講教育プログラム等の進め方などに反映	1.最上川学Net.の開設 2.最上川学教育研究情報の発信	1.海外先進地域の調査研究 2.県内学生の履修意向等リサーチ、分析 3.単位互換等履修環境改善の検討 4.コーディネータ教員、支援員配置	村山地区、米沢地区、新庄地区、庄内地区の4会場で開催	1.村山地区、米沢地区、新庄地区、庄内地区の4会場で開催 2.知的財産コーディネータ配置	1.プラットフォーム構築のための情報収集・調整 2.教員情報データベースの設計・開発	1.交流プログラムの企画・実施 2.ホストファミリーネットワーク構築のための情報収集・調整 3.Yamagata Information Book作成・配付	1.国際学術交流の推進 2.担当教職員の相互交流(短期研修・長期研修)
<b>平成21年度</b>	1.「最上川学教育プログラム」開講<前期・後期> 2.教育コンテンツの開発・作成・改善 3.履修上の課題等の評価・検証	1.「最上川学バーチャル研究所」の認定 2.最上川学共同研究の推進 3.「最上川学俯瞰講義」開設に向けて準備・調整 4.最上川学学術講演会・シンポジウムの開催	1.最上川学フォーラムの開催 2.最上川学教育学生グランプリの開催	最上川学教育研究情報の発信	1.魅力ある教育コンテンツの開発・作成 2.リサーチ、分析結果を踏まえた教育内容・方法の改善 3.単位互換等履修環境改善 4.コーディネータ教員、支援員配置	村山地区、米沢地区、新庄地区、庄内地区の4会場で開催	1.村山地区、米沢地区、新庄地区、庄内地区の4会場で開催 2.知的財産コーディネータ配置	1.プラットフォーム構築 2.教員情報データベースの公開・提供 3.産学官連携サミットの開催	1.交流プログラムの企画・実施 2.ホストファミリーネットワーク構築 3.Yamagata Information Book作成・配付	1.国際学術交流の推進 2.担当教職員の相互交流(短期研修・長期研修)
<b>平成22年度</b>	1.「最上川学教育プログラム」開講<前期・後期> 2.教育コンテンツの開発・作成・改善 3.履修上の課題等の評価・検証	1.「最上川学バーチャル研究所」の認定 2.最上川学共同研究の推進 3.「最上川学俯瞰講義」開設に向けて準備・調整 4.最上川学学術講演会・シンポジウムの開催	1.最上川学フォーラムの開催 2.最上川学教育学生グランプリの開催	最上川学教育研究情報の発信	1.魅力ある教育コンテンツの開発・作成 2.リサーチ、分析結果を踏まえた教育内容・方法の改善 3.単位互換等履修環境改善 4.コーディネータ教員、支援員配置	村山地区、米沢地区、新庄地区、庄内地区の4会場で開催	1.村山地区、米沢地区、新庄地区、庄内地区の4会場で開催 2.知的財産コーディネータ配置	1.プラットフォーム構築 2.教員情報データベースの公開・提供 3.産学官連携サミットの開催	1.交流プログラムの企画・実施 2.ホストファミリーネットワーク構築 3.Yamagata Information Book作成・配付	1.国際学術交流の推進 2.担当教職員の相互交流(短期研修・長期研修)

平成 21 年 4 月 7 日  
山 形 大 学

## 「星のソムリエ（星空案内人）」資格認定講座の受講生募集開始

「星は心のアクセサリー」  
…心のゆたかさ、そして、地域で活躍するサイエンスコミュニケーターとして…

人気の「星のソムリエ（星空案内人）」の資格認定講座  
～県内外からの応募多数となっております～

山形発の資格制度「星のソムリエ（星空案内人）」資格認定は、2009年度は、北は青森、南は沖縄と全国9箇所に広がり、今後も資格認定講座開催を予定している県がいくつかあり、まさに急成長している資格制度です。この資格の発信元である山形でも2009年度春の資格認定講座「やさしい宇宙講座」も募集を開始する時期となりました。

山形県内はもちろん、山形県外にお住まいの方からも東北地方をはじめ、関東、広島県と申込みが多く、非常にニーズの高い資格と講座であることを実感しております。また、資格にこだわらず、星空や宇宙についてしっかり学んでみたい方も歓迎しています。

山形から発信し、全国に普及しつつあるこの資格と講座について、より多くの皆様へご周知いただけますとともに取材いただけますようお願いいたします。

**（詳細につきましては、添付の資料を参照願います。）**

（お問い合わせ）

理学部柴田研究室 柴田晋平

電話：023（628）4552

# やさしい 宇宙講座



星空や宇宙について学びたい。  
星空案内人<sup>®</sup>(星のソムリエ<sup>®</sup>)の資格をとりたい。  
そんなみなさんのための講座です。

## 講座と日程

平成21年

5月29日(金)

講座オリエンテーション & 「さあ、はじめよう」

6月05日(金)

「望遠鏡のしくみ」

6月12日(金)

「実技3科目」

6月19日(金)

「実技3科目」

6月26日(金)

「実技3科目」

「実技3科目」は、

- ①星座をみつけよう
  - ②望遠鏡を使ってみようⅠ
  - ③望遠鏡を使ってみようⅡ
- を同時開講し、ローテーションを組んで順に受講します。

7月03日(金)

(休養日)

7月10日(金)

「星空の文化に親しむ」

7月17日(金)

「宇宙はどんな世界」

7月24日(金)

「星空案内の実際」

(毎週金曜日、時刻はいずれも19:00-21:00)

# やさしい宇宙講座について

宇宙や星空について基本的なことを広く学べる講座です。宇宙や星空について学びたいどなたも応募できます。（星空案内人の資格と関係なく受講できます。また、所定の科目の単位をとれば星空案内人の資格とすることもできます。）

☆対象：中学生以上

☆定員：講義科目30名、実技科目21名

☆受講料：有料 1,000円/一講座

（全科目受講される方は8講座×1,000円＝計8,000円となります）

※教科書「星空案内人になろう！」技術評論社（1,659円）を別途購入。

※全講座終了後に準案内人の資格認定を希望される方のみ、認定料として1,000円のご負担を頂いております。ご了承下さい。

☆場所：山形大学理学部・やまがた天文台

☆申し込み：別紙の申し込み用紙にて郵送またはファックスで申し込みください。

☆受講決定：受講できることになりましたら受講通知を5月16日頃に郵送いたします。

※応募多数の場合は選考となりますのでご了承下さい。

## 開講される講座の内容と日程

### 講座オリエンテーション & 「さあ、はじめよう」

講義科目

5月29日(金)

18:30～21:00

講師：柴田晋平

(NPO法人 小さな天文学者の会、山形大学理学部)

「宇宙」と言っても、とても広すぎて一言で表すことができません。

まずは「宇宙」を簡単に学んでみましょう！簡単に学べる「宇宙の入り口」です。



### 「望遠鏡のしくみ」

講義科目

6月05日(金)

19:00～21:00

講師：熊沢聡史

(山形県立高校教諭)

望遠鏡を使うとどうして大きく見えるの？どうして遠い星が近くに見えるの？  
望遠鏡の原理と構造について解説します。

## お問い合わせ先

山形大学インフォメーションセンター

TEL023-628-4050(月曜日～金曜日 午前9時～午後5時)

本講座についての詳しい情報は以下をホームページをご覧ください。

★星空案内人資格認定制度のHP

<http://astr-www.kj.yamagata-u.ac.jp/yao/ann/index.html>

★NPO法人小さな天文学者の会「やさしい宇宙講座」

<http://astr-www.kj.yamagata-u.ac.jp/shoten/>

**実技科目****「実技3科目」**

6月12日(金)・6月19日(金)・6月26日(金)  
19:00～21:00



- 「星座をみつけよう」 講師:佐藤国賢<sup>S†</sup>, 熊谷幸三<sup>S†</sup>  
(<sup>S</sup>NPO法人 小さな天文学者の会/<sup>†</sup>山形天文同好会)
- 「望遠鏡を使ってみようⅠ」  
(15cm屈折望遠鏡) 講師:鈴木真由美<sup>S†</sup>, 八木路子<sup>S</sup>, 川井栄助<sup>S</sup>  
(<sup>S</sup>NPO法人 小さな天文学者の会/<sup>†</sup>山形天文同好会)
- 「望遠鏡を使ってみようⅡ」  
(20cm反射望遠鏡) 講師:稲村陽子<sup>S†</sup>, 堀井敬之<sup>S</sup>, 山口康広<sup>S</sup>  
(<sup>S</sup>NPO法人 小さな天文学者の会/<sup>†</sup>山形天文同好会)

実技3科目は平行して開催しローテーションしながら3つの講座を受けることになります。

やまがた天文台にて、実技講座を行います。「星座を見つけよう」では実際の星空観察のやり方や、星座早見盤の使い方を学びます。「望遠鏡を使ってみよう」ではやまがた天文台で使用している望遠鏡を実際に動かして、天体の観察の方法を学びます。

**講義科目****「星空の文化に親しむ」**

7月10日(金)

19:00～21:00

講師:安藤享平

(郡山市ふれあい科学館)



星や星座には、神話や古代から伝わる文化がたくさん秘められています。「星の文化」を通して、人間の心の深い部分に触れてみませんか？

**講義科目****「宇宙はどんな世界」**

7月17日(金)

19:00～21:00

講師:大野寛

(NPO法人小さな天文学者の会/山形短期大学)

「宇宙」の誕生、そして、地球や様々な星の誕生そして死。見たことのない、知らない「宇宙」がそこにあります。

**実技科目****「星空案内の実際」**

7月24日(金)

19:00～21:00

講師:柴田晋平

(NPO法人 小さな天文学者の会/山形大学理学部)

「星空案内人」とは？やまがた天文台では、星空案内人によって、星空ガイドツアーが行われています。その実際を学ぶ講座です。



# 星空案内人資格認定制度

～本講座を受講すると星空案内人の資格を取得することができます～

## ★ 資格を取得してみよう！

1. 資格取得のためには「やさしい宇宙講座」を受講します。
2. 講座で必修科目の単位を取得します(表2)。  
(フルコースを受講し、レポートを提出すれば準案内人資格は簡単にとれます!!)
3. 準案内人取得後、やまがた天文台や観望会でお手伝いしながら徐々に技術を身につけ実技の単位を取得しましょう(表2)。  
(案内人への道のりは大変ですが、星や宇宙を楽しみながら頑張りましょう!!)
4. 最後の仕上げは、通常「路上試験」と呼ばれる「星空案内の実際」という実技科目の認定試験です。この単位を取得すれば晴れて星空案内人です!!

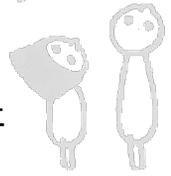


表1: 星空案内人と準案内人とは？

<b>星空案内人(準案内人)</b> (The Astronomy Guide (Associate Guide))	最初のステップが「準案内人」。ひととおりの勉強が終わった段階です。これから実技科目の認定を受ける段階へと進みます。この時期、公開天文台に通ったりしながら実技練習を積むと良いでしょう。
<b>星空案内人</b> (The Astronomy Guide)	星空案内の実技試験も合格し、実際の星空案内などの活動がはじめられる段階です。星のソムリエです。これから実践を積んで腕に研ぎをかけて下さい。

資格は簡単のため「準案内人」、「案内人」と呼んでいます。「星のソムリエ」は星空案内人に対する愛称です。



## ★ 資格をとるにはどんな単位をとればよいの？

講座の各科目には単位認定試験があります。該当する科目の授業に出席の上、試験に合格するとその科目の単位が取得できます。

表2: 認定講座開講科目と星空案内人資格要件

科目		準案内人	星空案内人
<b>必修科目</b>			
「さあ、はじめよう」	講義科目	単位取得	単位取得
「望遠鏡のしくみ」	講義科目	単位取得	単位取得
「星空案内の実際」	実技科目	受講	単位取得
<b>選択科目</b>			
「宇宙はどんな世界」	講義科目	3科目以上 受講	3科目以上 単位取得
「星空の文化に親しむ」	講義科目		
「星座を見つけよう」	実技科目		
「望遠鏡を使ってみよう」または 「プラネタリウムを使ってみよう(★)」	実技科目		

※講義科目の単位取得には、講座出席と単位認定レポートの合格が必要です。  
 ※実技科目の単位取得には、講座出席と単位認定チェックシートによる実技試験の合格が必要です。  
 ※資格要件を満たした方は資格認定書発行を講座主催者に依頼してください。資格認定書および、実際の活動で使う資格認定証(写真入り名札)が授与されます。  
 ★山形では開講していません。

# 受講申込書

受付番号

1. どちらかを○で囲ってください。

- ・ はじめて受講する
- ・ これまでに「やさしい宇宙講座」受講したことがある。

過去の受講番号( )

今回受けたい科目をバイキングコースの中から選んでください。

2. どちらかを○で囲ってください。

- ・フルコース
- ・バイキングコース

星空案内人の資格を目指す方、ひととおり宇宙について学びたい方はフルコースをお選びください。

バイキングコースを選んだ方は、

受講したい科目(下記)にチェック  をしてください。

※実技3科目に対して都合などにより特に希望する日がある場合は、希望日に  をしてください。特に希望がない場合は、こちらで日程を調節しますので、空欄にしておいてください。

個人データの記入に進んでください。

さあ、はじめよう(5月29日)

望遠鏡の仕組み(6月5日)

星座を見つけよう(※) ( 6月12日,  6月19日,  6月26日)

望遠鏡を使ってみようⅠ(※) ( 6月12日,  6月19日,  6月26日)

望遠鏡を使ってみようⅡ(※) ( 6月12日,  6月19日,  6月26日)

星空の文化に親しむ(7月10日)

宇宙はどんな世界(7月17日)

星空案内の実際(7月24日)

住所 〒	—	「やさしい宇宙講座」どこでお知りになりましたか？  チラシを見た、 新聞などマスコミ、 友人から、 書籍雑誌で、	星や宇宙・受講に対する思いなどをご記入下さい(★)
連絡先 電話番号			
氏名 (ふりがな)	性別	年齢	
	※お電話にてご連絡をする場合がございますが、個人情報について公開することはありません。		

★)この項目の記入事項をもとに選考させていただきます。

# お申し込み方法

- 裏面の受講申込書(コピー可)に必要な事項を記入の上、下記の送付先へ郵送またはFAXして下さい。

## 受講申込書送付先

〒990-8560  
山形市小白川町1-4-12  
山形大学理学部「やさしい宇宙講座」係宛  
FAX 023-628-4567

## お問い合わせ先

山形大学インフォメーションセンター  
TEL023-628-4050  
(月曜日～金曜日 午前9時～午後5時)



## ■ 申し込み書記入の仕方

受講がはじめてか、これまで受講したことがあるかを記入してください。これによって記入方法が変わります。

### 本講座をはじめて受講される方

星空案内人の資格を取得したいとお考えの方、または、宇宙について広く学びたい方はフルコースをお選びください。(予定を見て、1, 2回欠席が見込まれても全体を学びたいときはとりあえずフルコースを選んでください。)特定の科目を選んで受講したいときはバイキングコースを選んでください。

### 以前にも受講したことのある方

受講経験のある方はフルコースではなく前回受講できなかったものをバイキングコースで申し込んでください。講義科目については過去に受講したものでも再受講可能です。実技科目は前回受講している場合はお申し込みできません。前回受講した実技科目の実技練習については講座スタッフにご相談ください。

**申し込み期間 2009年4月01日(水)～2009年5月01日(金)必着**

☆受講決定通知: 受講できることになりましたらその旨を郵送にてご連絡をいたします。応募多数の場合は選考となりますのでご了承下さい。

**受講決定通知のご連絡は 2009年5月16日頃になります**